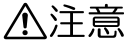
取扱説明書

DAYTONA corp.
R73295①/⑪

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

H.I.D. HEAD LAMP SYSTEM	適応車種	商品NO.
<HS5 Hi/Low 切り替え>	PCX ＜国内仕様 JF28 専用＞	73295

■ご使用前に必ず、ご確認ください■

※　取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
※　商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告　要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。

⚠注意　要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
高温注意	表記の注意を告げるものです。	分解禁止	表記の禁止行為を告げるものです。
感電注意	表記の注意を告げるものです。		

⚠注意

実施

・ この取扱説明書は、いつでも読めるように大切に保管してください。

・ 取付作業を行う前に、必ず本説明書をよくお読み頂き、箱から部品を全て取り出し、各部品の状態を点検してください。H.I.D.バルブ、コントローラー、バラストなどに損傷がある場合や落下させた場合は、直ちに作業を中止してください。

・ 取り付けの際は、安全のために販売店または認証工場へ依頼し、専門知識を持った方が作業を行ってください。

・ 使用するご本人以外(販売店も含む)の方が取り付けを行う場合、作業者は取り付け完了後の各部の緩み、不具合、危険箇所(バリ、突起物)など無き事を十分確認の上、使用するご本人に必要事項を説明してください。また、説明終了時には、この説明書を必ずお客様へお渡しください。

・ この商品は、完全防水ではありません。故障の原因となりますので、長時間の雨天走行や駐車はしないでください。

・ 炎天下での長時間連続点灯は、ヘッドライトレンズが高温となるため、ヘッドライトレンズ及び内部が破損する原因となります。また、連続点灯直後の洗車もお止めください。

・ この商品の取り付け後は、必ず光軸調整を行ってください。

・ この商品は PCX（国内仕様　JF28）の純正ヘッドライト専用です。
・ 車両への取付作業を行う前に、この商品のみで各部品を接続し、バッテリーまたは試験機にて必ず点灯確認を行ってください。
・ 車両への取り付けは、同梱の指定部品を必ず使用してください。
・ この商品はハロゲンランプより明るさが増すため、色温度が実際の表記色温度より下がる傾向があります。
・ この商品はハロゲンランプより明るさが増すため、取り付け後は必ず光軸調整を行ってください。また、事故を誘発する恐れがありますので、故意に光軸を上に向けたりすることはお止めください。
・ この商品はハロゲンランプより明るさが増すため、車両の状態や使用環境によっては、ヘッドライト内部にくもりが出る場合があります。
・ 車体装着後は、定期的なバッテリーチェックを必ず行ってください。
・ この商品は予告無しに仕様、または価格を変更する場合があります。本文中に紹介している商品につきましても同様となりますので、予めご了承ください。

・ この H.I.D.システムは高電圧（約２万ボルト）を発生します。システム作動中のバラストには、絶対に手や肌などで直接触れないでください。
・ バラストやコントロールユニット各部品の接続は、確実に行ってください。接続が不十分ではショートする危険性があります。

・ ヘッドライト点灯時や消灯直後は、ヘッドライトや点灯装置（バラスト、コントロールユニット、バルブ）が非常に高温になります。火傷をする危険性がありますので、絶対に手や肌などで直接触れないでください。
・ 使用後すぐにヘッドライトへ直接水を掛けたりすると、レンズ割れの原因となります。
※洗車やヘッドライト付近に触れる場合は、十分に冷却した後に作業を行ってください。

・ランプ点灯時は光源を直視しないでください。目の痛みや視力障害の原因となります。

・ この商品は精密な電子回路の集合体です。作動中高電圧を発生するシステムにつき、バラスト、コントロールユニット、H.I.D.バルブ、配線などの改造・分解は絶対に行わないでください。感電や火災、その他故障などの原因となります。

■使用上のご注意■

1．ヘッドライトの消灯・点灯操作は頻繁に行わないでください。

消灯・点灯を連続して繰り返すことにより、H.I.D.バルブ内部の電極が磨耗し、短寿命や不点灯などの原因となります。ヘッドライトスイッチの頻繁な操作は控えてください。

2．ヘッドライトを減光させるようなアフターパーツを装着されている場合、この商品を正常に動作させることができません。

ライトへの供給電圧が低下すると、H.I.D.を正常に起動させることが出来ませんので、フラッシング（点滅を繰り返す）を起こしてしまいます。システム故障の原因となりますので、これらの機能部品は併用しないでください。純正のアイドリングストップ機能使用中はヘッドライト減光の機能が働いており、本製品を取り付けた際に不具合の原因となるため、減光機能キャンセルおよびACCオンの状態で点灯する仕様となっております。
また、バッテリー電圧が下がっていても同様にフラッシングを起こしますので、バッテリー電圧と比重のチェックは常に行ってください。

3．電流・電圧センサーの機能が搭載されている盗難抑止警報機が誤作動する場合があります。

H.I.D.は点灯初期に昇圧→放電を行います。その際に、車両全体の電装に対する電圧が一時的に急激に変化し、それを盗難抑止警報機が異常と誤認し、作動する場合があります。このような場合は盗難抑止警報機をキャンセルするか、電流・電圧センサー機能が無い盗難抑止警報機にお取替えいただく必要があります。

4．下記の症状は使用環境や状況によって発生するもので、製品不良によるものではありません。

点灯直後や再点灯時に約１０～２０秒間、赤みを帯びた光や青白い光など、通常の点灯光にならないことがあります。バラストの昇圧差や個体差による現象ですので、製品不良ではありません。

5．ご使用中にバルブ不点灯の状態になった場合は、下記手順の簡易点検を必ず行ってください。

1）速やかに車両を安全な場所へ移動してください。

2）メインスイッチをＯＦＦにし、約１０秒後に再度メインンスイッチをONにして、ヘッドライトが点灯するかどうかご確認ください。

3）症状が改善されない場合は、約１０～２０分間メインスイッチをＯＦＦにしたままにし、その後再びメインスイッチをONにして、ヘッドライトが点灯するかどうかご確認ください。

※　上記作業を行っても症状が改善されない場合や、その他のトラブルが発生した場合は、ご購入もしくは取り付けをされた販売店へご相談ください。

6．H.I.D.バルブシステムの特性により、本体からノイズが発生します。車両によってはノイズの影響が出る場合があります。

H.I.D.システムは点灯時に高電圧を発生させるため、本体からノイズが発生します。車両によっては電子機器などが影響を受けて誤作動を起こしたり、デジタル時計がリセットされる場合があります。このような影響が見られた場合は、そのまま使用すると電子機器が故障しますので、市販のアルミテープをメーター裏面やECU表面に貼るなどして、H.I.D.システムから生じる、電子機器などへのノイズの影響を遮断してください。
このノイズ発生はH.I.D.バルブシステムの構造上の特性ですので、製品不良ではありません。また、同一車種に同じ取り付け方法で取り付けた場合であっても、ノイズの影響の出る車両と出ない車両が存在します。

※　電子機器などへのノイズの影響があることにつきましては、予めご了承ください。

■取り扱い上のご注意■

● 取付作業を行う際は、以下の項目を必ずお守りください。
※ 以下の項目をお守りいただけずに発生したトラブルに関しましては、製品保証等は一切お受けできません。予めご了承ください。

1．取付作業開始前に必ず動作確認（点灯テスト）を行ってください。

バルブケース未開封状態で H.I.D.バルブ・バラスト・コントロールユニットを接続し、バッテリーまたは試験機にて必ず点灯確認を行ってください。尚、そのままではバルブケースが溶ける可能性がありますので、点灯確認でき次第、直ちに点灯テストを終了してください。

2. H.I.D.バルブのガラス管には触れないでください。

バルブ類全てにおいての注意点です。触れた際につく油分を嫌いますので、万が一触れてしまった場合は、アルコールまたはパーツクリーナーを含ませた清潔なウエスなどで、油分を完全に拭き取ってください。

4．バラスト･コントロールユニットの取り扱いは慎重に行ってください。

精密な電子回路の集合体ですので、落としたり、配線を引っ張ったりしないでください。装着・点検作業では、システム作動中のハーネス類には絶対に触れないでください。高電圧が発生しており大変危険です。また、完全防水ではありませんので、車体装着後は雨や水がかからない場所にて駐車するよう心掛けてください。

5．バラスト･コントロールユニットの取り付けは、付属の取付指定部品を必ずご使用ください。

走行中の脱落は大変危険です。付属の取付指定部品を使用し、各部確実に取り付けてください。

6．車両のバッテリーを確認してください。

車両の分解作業を行う前に、必ずバッテリーチェックを行ってください。劣化により電圧が低いバッテリーでは正常に作動しません。また、アイドリングストップ機能使用時は、停車中のバッテリー上がりにご注意ください。

本商品の特徴

- PCX（国内仕様　JF28）専用に設計された、H.I.D.のカプラーオン FULL KIT です。
- 純正ヘッドライトバルブ形状 HS5 に対応し、Hi/Low 切り替え可能。
- 35W の明るさと 6000K の色温度を採用。夜間の認識性向上とファッション性を両立。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	HS5 H.I.D. バルブ	HS5 type	2	⑩	結束バンド２	150	4
②	コントロールユニット		2	⑪	六角ボルト	M6×４５	2
③	バラスト		2	⑫	六角ナット	M6	2
④	バッテリー接続ハーネス		1	⑬	六角Ｕナット	M6	2
⑤	コントローラーハーネス		1	⑭	プレートワッシャ	6.5×16×1.2ｔ	6
⑥	両面テープ１	60×15×1.2ｔ	2	⑮	グロメット	Φ20×10.5	2
⑦	両面テープ２	60×60×1.2ｔ	2	⑯	スペーサー	6×8×10.5	2
⑧	スポンジテープ	70×20×5ｔ	2	⑰	バラストステー		1
⑨	結束バンド１	300	2				

取付方法

- 取付作業を行う前に、システム全体の取付概要を正しくご理解ください。
  点灯テスト接続図（下図）を参照してください。
- 取り付けは取扱説明書の手順に従い、十分に注意しながら確実な作業を行ってください。

■点灯テスト手順■

※　この商品は出荷前に点灯試験を行っておりますが、車両への取付作業を行う前に、必ず商品単独で点灯テストを行い（下の接続図参照）、問題が無いことを確認した上で作業を行ってください。

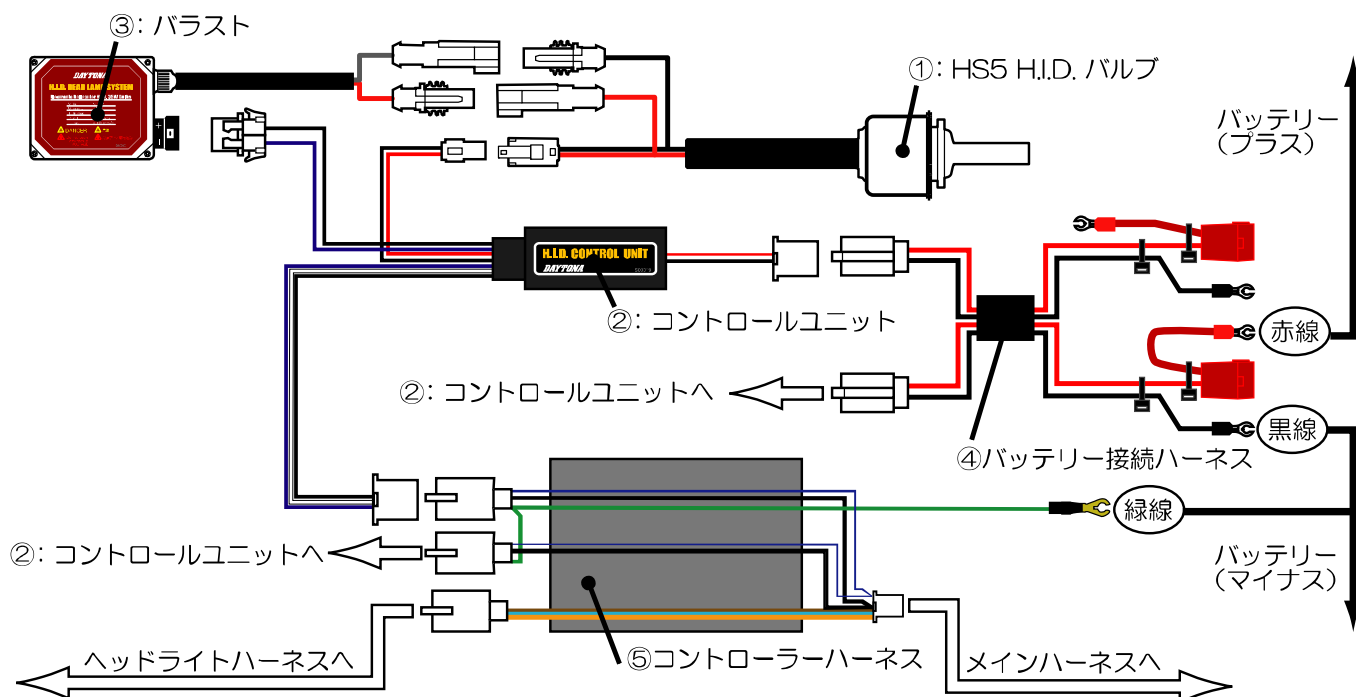
※　車両への取付前の点灯不良などのトラブルにつきましては、商品初期不良として対処させていただきますが、点灯テストを怠り、車両への取付作業完了後にトラブルが発覚した場合は、取付工賃など、商品以外の保証は一切できません。必ず点灯テストを行ってください。

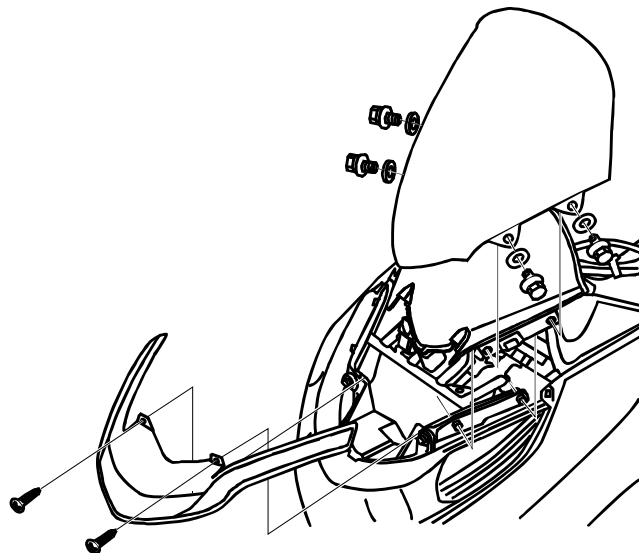
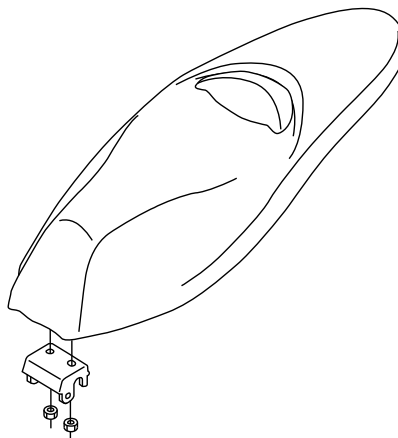
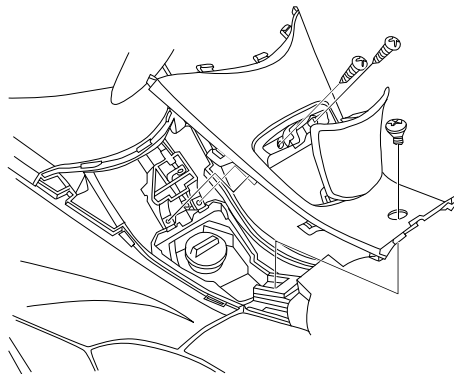
1. 下記の接続図に従って、①HS5 H.I.D.バルブ×２、②コントロールユニット×２、③バラスト×２、④バッテリー接続ハーネス、⑤コントローラーハーネスを接続します。

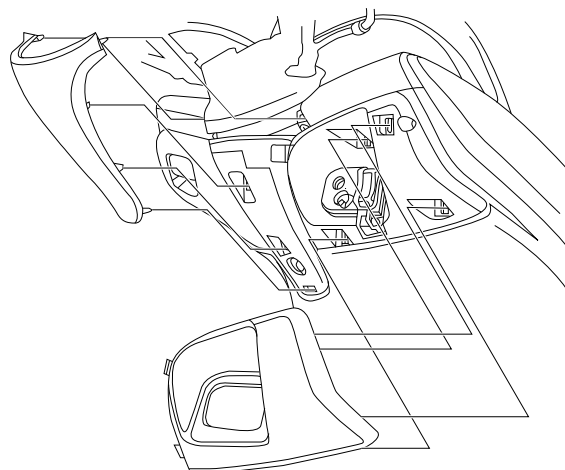
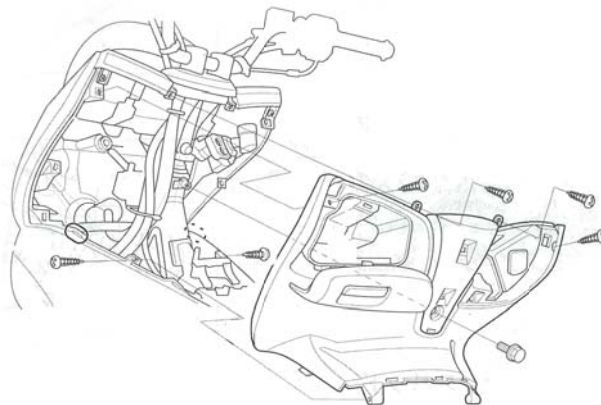
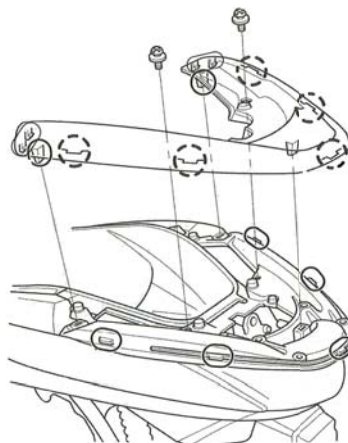
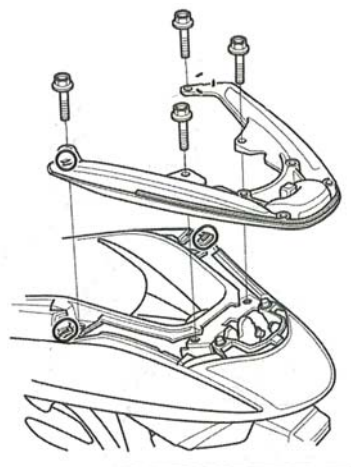
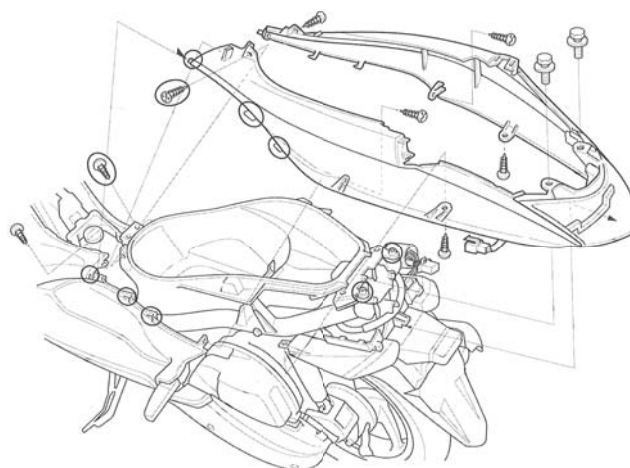
※. 接続の際、各部品の破損に十分注意してください。テスト時の破損による商品の保証はできません。

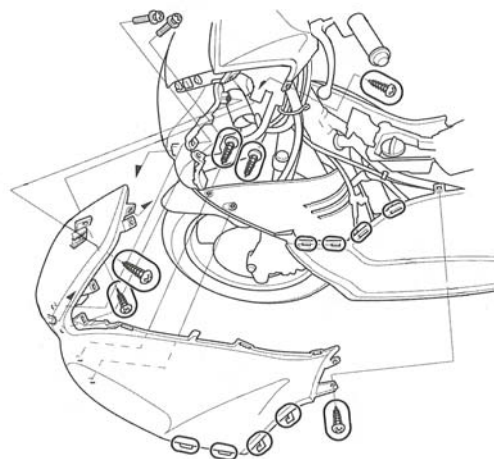
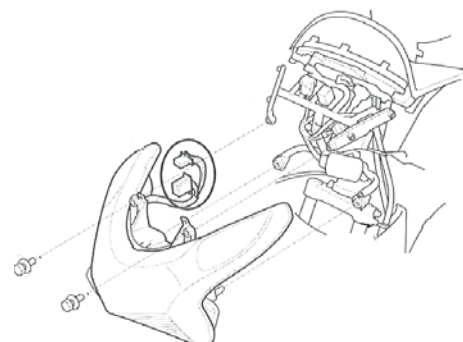
2. バッテリーを車体から取り外し、④バッテリー接続ハーネスより出ているハーネスのくわ型端子（赤色）をバッテリーのプラスへ、くわ型端子（黒色）⑤コントローラーハーネスのくわ型端子（緑色）をバッテリーのマイナスへ、それぞれ接続します。
3. ⑤コントローラーハーネスより出ている３極（白カプラー）の黒線をバッテリーのマイナスへ、白線をバッテリーのプラスへ接続すると、①HS5 H.I.D.バルブの Low 側が点灯します。
4. 白線を外し、青線をバッテリーのプラスへ接続すると、①HS5 H.I.D.バルブの Hi 側が点灯します。

※　取付作業手順は、弊社にて検討した方法となっており、取り付けをする際はサービスマニュアルを参考にして進めてください。
※　作業を始める前に、バッテリーの接続を外し、収納スペースから取り出しておきます。
※　純正外装部品を取り外す際は、ツメ・クリップの破損に十分注意して行ってください。

接続図　※下図は１灯分の接続図です。

1．純正ビス（２ヶ）を取り外し、フロントグリルを取りはずします。

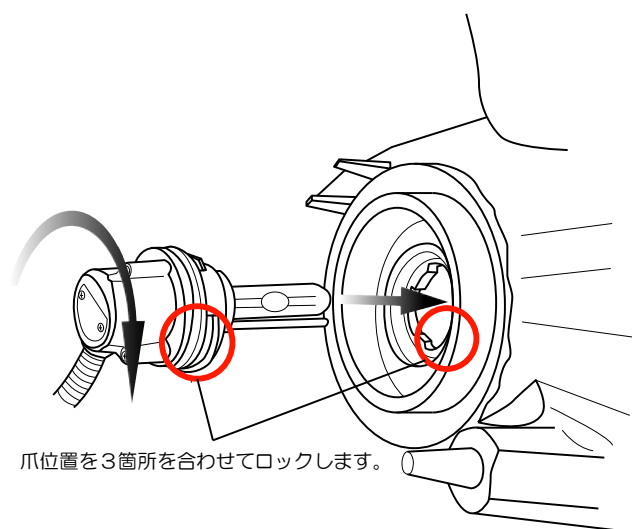
2．純正ボルト（４ヶ）を取り外し、メータバイザ及びフロントメータパネルを取り外します。

3．シートロックを解除し、シートを開けます。純正ナット（２ヶ）を取り外し、シートを取り外します。

4．フューエルリッドのロックを解除し、フューエルリッドを開けます。純正ビス（3ヶ）を外し、センターカバーを取り外します。

5．メータパネルカバーを取り外します。

6． R. インメンテナンスリッドを取り外します。

7．インナポケットを開けます。純正ビス（6ヶ）及び純正ボルト（1ヶ）を取り外し、インナカバーを取り外します。	
8．純正ビス（2ヶ）を取り外し、グラブレールカバーを取り外します。	
9．純正ボルト（4ヶ）を取り外し、グラブレールを取り外します。	
10．純正ビス（8ヶ）及び、純正ボルト（2ヶ）を取り外し、ボディカバーを取り外します。	

１１．純正ビス（８ヶ）を取り外し、フロントカバー（左右）を取り外します。

※右図は左側の取り外し図です。

１２．ヘッドライトカプラの接続を外し、純正ボルト（２ヶ）を取り外し、ヘッドライトユニットを取り外します。

１３・ダストカバーを取り外し、純正ヘッドライトバルブを取り外します。

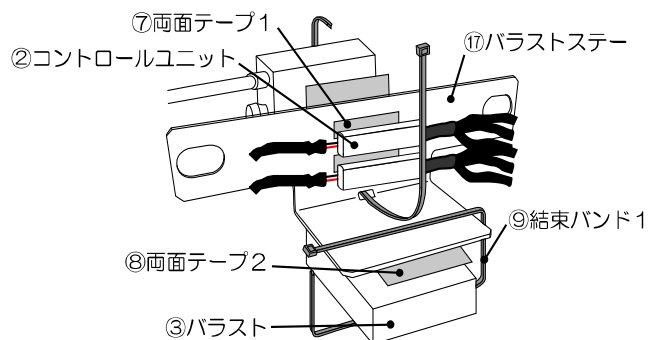
<u>※純正のダストカバー及びヘッドライトバルブ接続線は使用しませんので、車体組み付け時に走行に支障が無い位置へ固定してください。</u>

１４. 向き･ツメの位置に注意して①HS5H.I.D.バルブを取り付けます。

<u>※①HS5H.I.D.バルブのガラス管には触れないでください。万が一触れてしまった場合は清潔なウエスなどで油分を完全に拭き取ってください。</u>

１５．②コントロールユニット及び③バラストのステッカーが貼られていない面を脱脂し、⑥⑦の両面テープをそれぞれ貼り付けます。

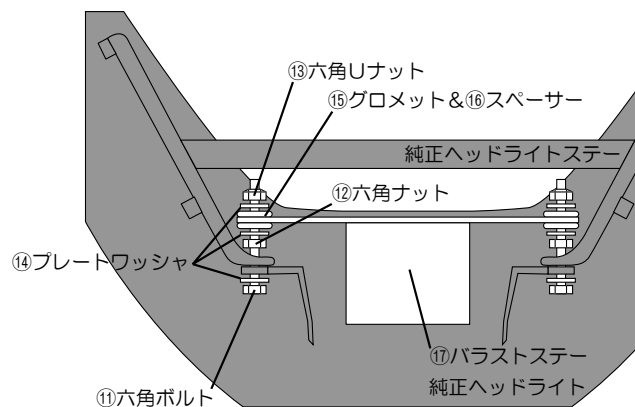
１６．②コントロールユニットのカプラーを③バラストへ接続します。

<u>※接続の向きに注意してください。バラストの＋ーの刻印側が、カプラーのロック側です。</u>

１７．右図を参考に⑰バラストステーへそれぞれを貼り付けし、⑨結束バンドで確実に固定をします。

１８．手順１７で作成したユニットと、ヘッドライトユニットを右図のように取り付けします。

<u>※グロメット部などに配線を挟み込まないように注意しながら行ってください。</u>

<u>※⑫⑬ナットは、ヘッドライトユニットをしっかりと固定してから位置を調整してください。</u>

<u>※バラストのハーネスが車両側に固定されている純正ハーネスに接触し負荷が掛かる場合は位置を調整してください。</u>

１９．接続図を参考にして①HS5H.I.D.バルブ②コントロールユニット③バラスト⑤コントローラーハーネス及び純正ヘッドライトユニットのカプラーを接続します。

２０．④バッテリー接続ハーネスのカプラーを②コントロールユニットに接続し、メインハーネスに沿わせて配線します。

２１．バッテリーを収納スペースに戻し、④バッテリー接続ハーネスのプラス側のくわ型端子（赤色）をバッテリーのプラスへ、マイナス側のくわ型端子（黒色）と⑤コントローラーハーネスのアース線のくわ型端子（緑色）をバッテリーのマイナスへ、それぞれ接続します。

<u>※バッテリー取り付け時に、プラスとマイナスを逆に接続しないように注意してください。万が一逆に取り付けてしまった場合は直ちに作業を中止してください。精密な電子回路の集合体ですので、システム内部が破損してしまう可能性が有ります。そのまま再使用されますとトラブルの原因となりますので、このような場合は必ず当社に検査依頼を申し出て下さい。尚、逆接続による製品の動作不良は、保障の対象外となります。予めご了承ください。</u>

２１．エンジンを始動させ、点灯確認およびHi/Low切り替えの操作に問題が無い事を確認します。

<u>※この時点で万が一点灯不良となった場合は、直ちにメインスイッチをOFFにし、バッテリーの端子を外した状態で、各部の接続状態に異常が見られないか、再度ご確認ください。</u>

２２．ハーネス各部を適度に束ね、走行に支障が無い位置へ⑩結束バンドを使用して固定してください。特に、③バラストから①HS5H.I.D.バルブへ接続するハーネスは、動作不良につながるため、急な曲り等が無いように注意して固定してください。

２３．取り外しと逆の手順で純正部品を取り付けします。

２４．ヘッドライトを点灯させ、光軸調整を行い、各部を点検し異常が無ければ作業終了です。

●トラブルシューティング●

H.I.D.バルブがうまく点灯しない場合は、以下の点を確認してください。

状態	原因	対応
点灯しない	ヘッドライトスイッチが OFF になっている。（装備車のみ）	ヘッドライトスイッチを ON にしてください。
	コネクターの接続不良	各コネクターを確実に接続してください。
	アース不良 アースがうまく落ちていないと点灯しません	バッテリー端子の取付状態を確認してください。
	車両側ハーネスやスイッチの接点不良	車体側のヘッドライトの電源カプラーの接続状態、入力電圧を確認してください。 スイッチハウジング内の端子の汚れなどの影響で、入力電圧が正しく入力されない場合があります。 スイッチハウジング内の接点の状態も、併せて点検してください。
	ヒューズ切れ	車体側のヒューズ、②コントロールユニットのバッテリー接続ハーネスのヒューズを確認してください。
	①HS5 H.I.D.バルブの消耗	①HS5 H.I.D.バルブの寿命は約 2000 時間です。
フラッシング （点滅を繰り返す）	**バッテリー電圧が低い** バッテリー電圧が低い場合は、点灯させるだけの電圧が得られないため、正常な点灯状態にたどりつけずにフラッシングを起こします	バッテリー電圧を点検し、低下している場合はこまめにバッテリー充電を行うか、新品のバッテリーに交換してください。 バッテリーが劣化し始めた車両では、特にこの症状が起こりやすいので、ご注意ください。 エンジン始動後にフラッシングする場合もありますが、エンジン回転を少し上げると正常に点灯するのであれば、故障ではありません。
	アース不良 アースがうまく落ちていない場合にフラッシングが発生します	バッテリー端子の取付状態を確認してください。
	車両側ハーネスやスイッチの接点不良	車体側のヘッドライトの電源カプラーの接続状態、入力電圧を確認してください。 スイッチハウジング内の端子の汚れなどの影響で、入力電圧が正しく入力されない場合があります。 スイッチハウジング内の接点の状態も、併せて点検してください。
	①HS5 H.I.D.バルブの消耗	①HS5 H.I.D.バルブの寿命は約 2000 時間です。

状態	原因	対応
メーターの時計などのリセット イモビライザーなどの誤作動	点灯時にノイズなどの影響を受けている。点灯の瞬間にシステム（特にバラスト～H.I.D バルブ）には高電圧が掛かり、同時にノイズを発生します	バラストの取付位置は、メーターや ECU、イモビライザーなどのユニットからは可能な限り距離を置いた位置としておりますが、車両によってはノイズの影響を受ける可能性があります。 ノイズ遮断には、アルミテープなどによるシールドが有効ですので、車両に応じて電子機器にアルミテープを巻くなどし、シールドを施してください。
	バッテリー電圧の降下	H.I.D は特性上、点灯直後の数秒間は多くの電力を消費します。そのため、一時的に車体全体の電圧が大きく下がる場合があります。その際に、メーターなどが一時的に「電源 OFF」の状態となり、時計などがリセットされてしまう場合があります。 バッテリー電圧を点検し､低下している場合はこまめにバッテリー充電を行うか､新品のバッテリーに交換してください。
Hi/Low 切り替え時に消灯、またはフラッシングする	ハンドル側の切替スイッチなどの接点不良	車体側のヘッドライトの電源カプラーの接続状態、入力電圧を確認してください。 スイッチハウジング内の端子の汚れなどの影響で、入力電圧が正しく入力されない場合があります。 スイッチハウジング内の接点の状態も、併せて点検してください。
Hi/Low の切り替えが出来ない。	配線の取り回しによる切替動作の阻害	結束バンドを使用し固定したハーネス類へ、負荷が掛かっていないか確認してください。 結束バンドを取り外すことでこの症状が改善する場合は、該当部分の配線の取り回しを変更し、負荷が掛からないようにしてください。
	コネクターの接続不良	各コネクターを確実に接続してください。
	Hi/Low 入力信号の配線ミス	Hi/Low の入力信号の接続を間違えると､点灯するけども切り替えが一度しか動かない､などの症状がでます。Hi と Low、それぞれのプラスとアースの接続を確認してください。
	①HS5 H.I.D.バルブの消耗	①HS5 H.I.D.バルブの寿命は約 2000 時間です。

株式会社 デイトナ　〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona-mc.jp　E-mail: info@daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」
0120-60-4955 まで